

(4) 経済生活

ア 生活の収入源 (Q19a)

「現在の生活費を何でまかなっているか」(すべての収入源)についてみると、韓国を除く4か国では「公的な年金」(日本85.9%、アメリカ77.5%、ドイツ86.8%、スウェーデン81.5%)の割合が最も高くなっている。一方、韓国では「子どもなどからの援助」の割合が52.6%で最も高くなっている。

時系列でみると、日本では、前回調査と比較して、「公的な年金」や「預貯金などの引き出し」の割合が減少する一方で、「仕事による収入」や「私的な年金」の割合が増加した。また、韓国では、収入源として最も高い割合を占めている「子どもなどからの援助」が減少傾向にある一方で、「仕事による収入」、「公的な年金」及び「私的な年金」は増加傾向にある。

男女別にみると、韓国を除く4か国では男女ともに「公的な年金」(日本:男性84.9% 女性86.7%、アメリカ:男性76.7% 女性78.1%、ドイツ:男性84.1% 女性88.7%、スウェーデン80.5% 女性82.4%)の割合が最も高くなっている。一方、韓国では男性で「仕事による収入」(54.5%)が、女性で「子どもなどからの援助」(62.8%)の割合が最も高くなっており、「公的な年金」の割合は男性33.1%、女性28.2%にとどまっている。

(表30)

○付数字は順位(複数回答)(%)

	日 本							ア メ リ カ						
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
1 仕事による収入	41.0	34.3	34.1	35.0	33.4	27.7	②34.9	27.3	24.0	21.6	25.6	25.5	32.2	29.1
2 公的な年金(国民年金、厚生年金など)	64.6	77.0	81.2	84.0	84.9	90.6	①85.9	82.1	84.7	84.5	83.0	85.4	76.8	①77.5
3 私的な年金(企業年金、個人年金など)	8.4	5.4	7.8	7.5	11.1	7.1	10.1	27.1	29.7	33.4	33.0	39.0	35.5	③34.0
4 預貯金などの引き出し	11.4	16.6	22.7	21.4	22.1	23.8	③17.2	22.0	24.0	24.0	23.7	25.6	45.0	②37.5
5 財産からの収入(利子、配当金、家賃、地代など)	15.6	14.5	13.9	11.4	8.2	6.5	6.8	45.1	49.4	43.1	34.3	32.6	34.6	26.1
6 子どもなどからの援助	29.8	21.8	18.9	15.4	12.0	10.0	7.4	2.4	2.2	2.6	3.0	2.7	5.3	5.3
7 生活保護	1.7	1.4	1.4	0.7	1.0	0.5	0.9	3.3	3.2	3.0	1.9	1.9	1.0	3.5
8 その他	4.8	4.0	3.2	3.8	3.2	3.3	2.7	8.2	6.0	8.0	7.0	6.6	1.7	1.4
無回答	1.0	0.3	1.6	0.3	0.1	-	0.1	0.1	0.2	-	1.6	0.7	-	0.7

	韓 国							ド イ ツ					スウェーデン	
	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第5回	第7回	
1 仕事による収入	21.8	37.4	32.4	34.2	42.0	②43.3	7.1	6.5	9.7	15.2	14.5	14.9	28.8	
2 公的な年金(国民年金、厚生年金など)	1.7	3.4	4.3	9.5	14.8	③30.3	82.6	84.4	83.5	85.6	①86.8	85.5	①81.5	
3 私的な年金(企業年金、個人年金など)	-	0.5	0.5	1.2	6.6	8.5	26.2	23.9	22.7	20.3	③23.4	14.8	③37.3	
4 預貯金などの引き出し	3.5	6.0	11.0	21.7	31.1	21.9	14.4	20.7	36.2	45.1	②39.1	26.1	25.1	
5 財産からの収入(利子、配当金、家賃、地代など)	5.5	8.4	10.2	10.1	7.6	7.9	10.9	11.8	15.2	17.0	18.3	4.8	17.9	
6 子どもなどからの援助	78.2	73.6	70.8	59.4	60.7	①52.6	3.6	2.9	3.8	3.5	2.9	0.4	0.4	
7 生活保護	2.0	3.2	5.0	6.1	5.7	8.7	1.3	1.1	3.6	2.2	2.9	38.5	②38.1	
8 その他	3.6	2.2	0.5	2.5	3.2	1.7	6.3	4.2	5.0	0.7	1.1	3.7	3.0	
無回答	-	0.2	-	-	-	-	-	0.3	-	0.7	0.9	0.1	-	

(表31) 第7回(性別)

○付数字は順位(複数回答)(%)

	日本			アメリカ			韓国			ドイツ			スウェーデン		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
1 仕事による収入	34.9	②41.1	②29.8	29.1	30.3	28.2	43.3	①54.5	②34.7	14.5	18.9	11.3	28.8	32.6	25.2
2 公的な年金(国民年金、厚生年金など)	85.9	①84.9	①86.7	77.5	①76.7	①78.1	30.3	③33.1	③28.2	86.8	①84.1	①88.7	81.5	①80.5	①82.4
3 私的な年金(企業年金、個人年金など)	10.1	10.8	9.5	34.0	②40.3	③29.2	8.5	10.3	7.0	23.4	③30.3	③18.3	37.3	②41.2	③33.5
4 預貯金などの引き出し	17.2	③16.2	③18.1	37.5	③38.7	②36.6	21.9	22.5	21.4	39.1	②42.9	②36.3	25.1	22.2	28.0
5 財産からの収入(利子、配当金、家賃、地代など)	6.8	8.0	5.9	26.1	28.2	24.5	7.9	9.2	6.8	18.3	21.9	15.7	17.9	19.5	16.4
6 子どもなどからの援助	7.4	3.3	10.9	5.3	3.5	6.7	52.6	②39.3	①62.8	2.9	0.5	4.7	0.4	-	0.7
7 生活保護	0.9	1.1	0.8	3.5	2.3	4.4	8.7	7.8	9.3	2.9	2.1	3.5	38.1	③38.5	②37.8
8 その他	2.7	1.3	3.9	1.4	1.2	1.6	1.7	1.4	1.9	1.1	0.7	1.4	3.0	2.5	3.6
無回答	0.1	0.2	-	0.7	-	1.2	-	-	-	0.9	0.9	0.9	-	-	-

イ 生活の主な収入源 (Q19b)

「現在の生活費を何でまかなっているか」(主な収入源)についてみると、韓国を除く4か国で「公的な年金」(日本66.3%、アメリカ54.9%、ドイツ80.7%、スウェーデン69.5%)の割合が最も高く、韓国では「仕事による収入」(37.5%)の割合が最も高くなっている。

時系列でみると、日本では前回調査まで増加傾向にあった「公的な年金」の割合が減少に転じ、「仕事による収入」の割合が増加した。また、韓国では、主な収入源として前回まで最も高い割合を占めていた「子供などからの援助」を、「仕事による収入」が今回の調査で初めて上回った。

男女別にみると、韓国を除く4か国では男女共に「公的な年金」(日本:男性65.4% 女性67.0%、アメリカ:男性51.5% 女性57.4%、ドイツ:男性78.6% 女性82.3%、スウェーデン65.9% 女性73.1%)の割合が最も高くなっている。一方、韓国では男性で「仕事による収入」(47.4%)が、女性で「子どもなどからの援助」(38.9%)の割合が最も高くなっている。

(表 32)

(%)

	日 本							ア メ リ カ						
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
1 仕事による収入	31.3	24.5	23.8	21.6	20.8	17.7	24.3	15.2	14.1	10.7	15.5	13.9	19.8	20.1
2 公的な年金 (国民年金、厚生年金など)	34.9	53.4	54.3	57.1	67.5	73.9	66.3	53.9	53.0	55.2	55.5	56.6	54.7	54.9
3 私的な年金 (企業年金、個人年金など)	3.8	1.9	1.9	1.7	1.6	1.0	1.2	10.0	10.4	13.6	13.3	16.4	10.1	12.1
4 預貯金などの引き出し	2.1	2.2	2.0	2.4	1.6	1.0	1.4	1.7	1.8	1.8	1.5	0.9	2.8	2.6
5 財産からの収入 (利子、配当金、家賃、地代など)	5.3	5.6	4.0	2.5	2.3	1.9	2.0	14.5	17.4	11.0	8.5	7.0	9.8	5.1
6 子供などからの援助	15.6	9.0	5.7	4.2	3.4	2.5	1.9	0.3	0.2	0.7	-	0.1	0.5	0.7
7 生活保護	1.2	1.1	0.9	0.3	0.9	0.5	0.8	0.7	0.4	1.4	0.3	0.5	0.4	1.4
8 その他	3.1	1.9	1.8	2.4	1.7	1.5	1.9	3.5	2.4	2.7	1.6	3.1	1.0	0.8
無回答	2.7	0.4	5.7	7.9	0.2	0.1	0.1	0.2	0.3	3.0	3.7	1.6	0.9	2.3

	韓 国							ド イ ツ					スウェーデン	
	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第5回	第7回	
1 仕事による収入	16.2	31.9	26.6	28.1	35.4	37.5	5.3	4.6	7.1	10.2	9.6	11.8	18.7	
2 公的な年金 (国民年金、厚生年金など)	0.8	2.5	2.9	5.9	4.5	10.6	76.6	77.0	75.8	76.9	80.7	80.1	69.5	
3 私的な年金 (企業年金、個人年金など)	-	0.3	0.5	0.6	2.2	2.6	10.9	10.1	9.1	4.0	3.6	1.9	4.3	
4 預貯金などの引き出し	2.2	1.9	4.9	9.6	10.8	8.9	0.6	1.6	1.3	0.8	0.7	0.6	2.9	
5 財産からの収入 (利子、配当金、家賃、地代など)	3.3	4.6	4.5	5.6	3.4	4.7	1.4	2.0	1.9	2.2	1.8	0.2	0.6	
6 子供などからの援助	72.4	54.8	56.3	43.2	37.3	30.1	0.6	0.2	0.2	0.4	0.4	-	-	
7 生活保護	1.2	2.2	3.7	5.0	4.3	4.1	0.3	0.6	1.5	1.5	1.3	2.9	2.5	
8 その他	3.2	1.6	0.3	2.2	2.1	1.3	2.6	1.7	3.1	0.7	0.7	2.2	1.5	
無回答	0.6	0.2	0.4	-	-	0.2	1.8	2.2	-	3.3	1.3	0.3	-	

(表 33) 第7回 (性別)

(%)

	日本			アメリカ			韓国			ドイツ			スウェーデン		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
1 仕事による収入	24.3	28.4	20.9	20.1	21.0	19.4	37.5	47.4	30.0	9.6	13.1	7.0	18.7	21.0	16.4
2 公的な年金 (国民年金、厚生年金など)	66.3	65.4	67.0	54.9	51.5	57.4	10.6	12.0	9.6	80.7	78.6	82.3	69.5	65.9	73.1
3 私的な年金 (企業年金、個人年金など)	1.2	0.9	1.4	12.1	16.8	8.6	2.6	2.8	2.5	3.6	4.0	3.3	4.3	6.2	2.4
4 預貯金などの引き出し	1.4	0.9	1.7	2.6	3.0	2.3	8.9	9.9	8.1	0.7	0.2	1.0	2.9	1.9	3.9
5 財産からの収入 (利子、配当金、家賃、地代など)	2.0	2.0	2.0	5.1	4.0	6.0	4.7	5.3	4.2	1.8	1.2	2.3	0.6	0.4	0.7
6 子供などからの援助	1.9	0.2	3.4	0.7	0.2	1.1	30.1	18.6	38.9	0.4	-	0.7	-	-	-
7 生活保護	0.8	1.1	0.6	1.4	1.4	1.4	4.1	3.2	4.7	1.3	0.9	1.6	2.5	3.3	1.7
8 その他	1.9	0.7	2.9	0.8	0.5	1.1	1.3	0.7	1.8	0.7	0.7	0.7	1.5	1.3	1.7
無回答	0.1	0.2	-	2.3	1.6	2.8	0.2	0.2	0.2	1.3	1.4	1.2	-	-	-

ウ 日々の暮らしに困ることがあるか (Q20)

「経済的に日々の暮らしに困ることがあるか」についてみると、日本では「困っていない」が55.5%で、スウェーデン(58.4%)に次いで高くなっている。

「困っている」と「少し困っている」を合わせた割合をみると、韓国が52.5%で最も高く、次いでアメリカ(37.1%)、ドイツ(23.5%)、日本(17.2%)の順で、最も低いスウェーデンは11.1%となっている。

(表 34)

(%)

	日 本							ア メ リ カ						
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
1 困っている	3.5	4.0	3.4	3.8	6.0	3.1	4.6	9.9	4.8	3.9	4.5	6.7	3.9	8.0
2 少し困っている	10.2	11.8	15.6	15.9	17.6	11.4	12.6	18.4	13.0	16.3	24.8	24.8	23.7	29.1
3 あまり困っていない	26.0	31.0	41.8	38.5	38.0	28.3	27.3	23.8	21.1	23.9	25.7	27.9	36.1	31.7
4 困っていない	59.1	52.7	38.4	41.5	38.3	57.1	55.5	47.3	60.6	55.1	44.3	39.7	36.1	31.2
無回答	1.1	0.4	0.7	0.3	0.1	0.1	-	0.6	0.6	0.9	0.7	0.9	0.2	-

	韓 国						ド イ ツ					スウェーデン	
	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第5回	第7回
1 困っている	36.3	28.0	15.8	23.0	18.1	18.6	1.5	1.8	3.2	6.2	5.6	4.9	2.5
2 少し困っている	25.5	31.7	32.8	38.6	31.5	33.9	5.7	6.3	16.2	23.7	17.9	22.1	8.6
3 あまり困っていない	30.4	33.7	44.1	31.8	39.0	36.2	24.8	28.2	46.6	36.8	37.3	44.6	30.5
4 困っていない	7.4	6.5	7.1	6.6	11.4	11.2	67.9	63.0	34.1	33.3	38.4	28.5	58.4
無回答	0.4	0.1	0.2	-	-	-	0.2	0.7	-	0.1	0.8	-	-

エ 老後の生活費に対する備え (Q21)

「50歳代までに、老後の経済生活に備えて特に何かしていたか」についてみると、スウェーデンを除く4か国で「預貯金」(日本51.5%、アメリカ59.2%、韓国26.8%、ドイツ62.1%)の割合が最も高くなっている。スウェーデンでは、「個人年金への加入」が47.9%で最も高くなっている。なお、アメリカでは、「個人年金への加入」(44.4%)及び「債券・株式の保有、投資信託」(36.9%)なども高い割合となっている。

また、「特になし」の割合は、韓国で61.9%と最も高く、次いで、日本(39.0%)、スウェーデン(36.9%)、ドイツ(23.7%)、アメリカ(20.5%)となっている。

時系列でみると、日本とアメリカでは「特になし」の割合が増加傾向にあり、ドイツとスウェーデンでは減少傾向にある。

(表 35)

(複数回答) (%)

	日 本							ア メ リ カ							
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	
1 預貯金					57.9	55.5	51.5						66.4	64.7	59.2
2 個人年金への加入					27.6	19.0	18.2						46.4	39.8	44.4
3 債券・株式の保有、投資信託					6.2	6.8	7.8						35.5	39.6	36.9
4 不動産取得(賃貸収入を得るための不動産の取得等)					7.9	5.2	5.5						20.0	19.9	20.8
5 貴金属の保有(金、宝石等)					0.2	0.1	0.4						3.3	3.0	5.4
6 老後も働いて収入が得られるように職業能力を高める					14.7	6.9	5.0						12.3	8.8	16.7
7 その他					1.9	1.9	1.4						1.9	1.3	2.0
8 特になし					26.4	34.9	39.0						16.7	19.5	20.5
無回答					-	-	-						0.8	0.2	1.3

	韓 国							ド イ ツ							スウェーデン	
	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第5回	第7回			
1 預貯金				29.9	33.6	26.8			49.4	58.8	62.1	28.5	27.0			
2 個人年金への加入				8.9	10.3	11.0			7.3	14.7	15.2	18.1	47.9			
3 債券・株式の保有、投資信託				0.6	0.7	1.0			10.0	12.8	16.8	14.8	28.4			
4 不動産取得(賃貸収入を得るための不動産の取得等)				11.7	9.8	11.1			10.1	19.5	22.4	5.2	6.1			
5 貴金属の保有(金、宝石等)				0.6	1.1	0.1			0.4	0.7	1.3	0.8	0.4			
6 老後も働いて収入が得られるように職業能力を高める				4.0	9.7	4.3			5.2	6.5	10.1	1.5	1.6			
7 その他				-	2.0	1.3			2.7	3.1	1.5	0.2	1.9			
8 特になし				59.9	54.7	61.9			38.1	26.5	23.7	53.1	36.9			
無回答				-	-	-			0.3	0.2	0.9	0.1	-			

オ 老後の備えとしての現在の貯蓄や資産の充足度 (Q22)

「現在の貯蓄や資産は老後の備えとして十分か」についてみると、「社会保障で基本的な生活は満たされているので、資産保有の必要性がない」の割合は、ドイツでは14.4%となっているが、他の4か国（日本1.6%、アメリカ4.6%、韓国2.4%、スウェーデン8.6%）は1割に届かず、日本が最も低くなっている。

「十分だと思う」の割合は、ドイツで29.9%と最も高く、次いで、スウェーデン26.5%、アメリカ21.8%、日本13.0%、韓国6.1%となっている。

一方、「やや足りないと思う」と「まったく足りないと思う」を合わせた割合をみると、韓国が63.7%で最も高く、次いで日本が53.0%と、アジア2か国は、欧米3か国（アメリカ34.5%、ドイツ22.6%、スウェーデン13.2%）と比較して、老後の備えとしては足りないと思う割合が高くなっている。

(表 36)

(%)

	日 本							ア メ リ カ							
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	
1 社会保障で基本的な生活は満たされているので、資産保有の必要性がない					2.8	1.8	1.6						7.4	3.7	4.6
2 十分だと思う					7.2	12.6	13.0						25.2	28.1	21.8
3 まあ十分だと思う					30.7	32.2	28.5						32.6	38.4	36.1
4 やや足りないと思う					32.0	30.3	34.7						14.7	16.6	18.5
5 まったく足りないと思う					17.1	15.0	18.3						15.0	9.0	16.0
6 わからない					10.2	8.2	3.9						4.0	4.0	3.0
無回答					-	-	-						1.1	0.2	-

	韓 国						ド イ ツ					スウェーデン	
	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第5回	第7回
1 社会保障で基本的な生活は満たされているので、資産保有の必要性がない				0.7	0.3	2.4			22.3	11.1	14.4	0.9	8.6
2 十分だと思う				6.3	7.4	6.1			18.6	22.6	29.9	17.4	26.5
3 まあ十分だと思う				19.8	21.0	23.4			29.4	34.3	30.7	48.9	45.8
4 やや足りないと思う				30.7	33.7	32.3			15.0	17.5	16.2	16.5	10.4
5 まったく足りないと思う				36.7	32.1	31.4			10.1	8.5	6.4	6.3	2.8
6 わからない				5.8	5.5	4.4			4.5	5.6	2.4	10.1	5.8
無回答				-	-	-			-	0.4	-	-	-